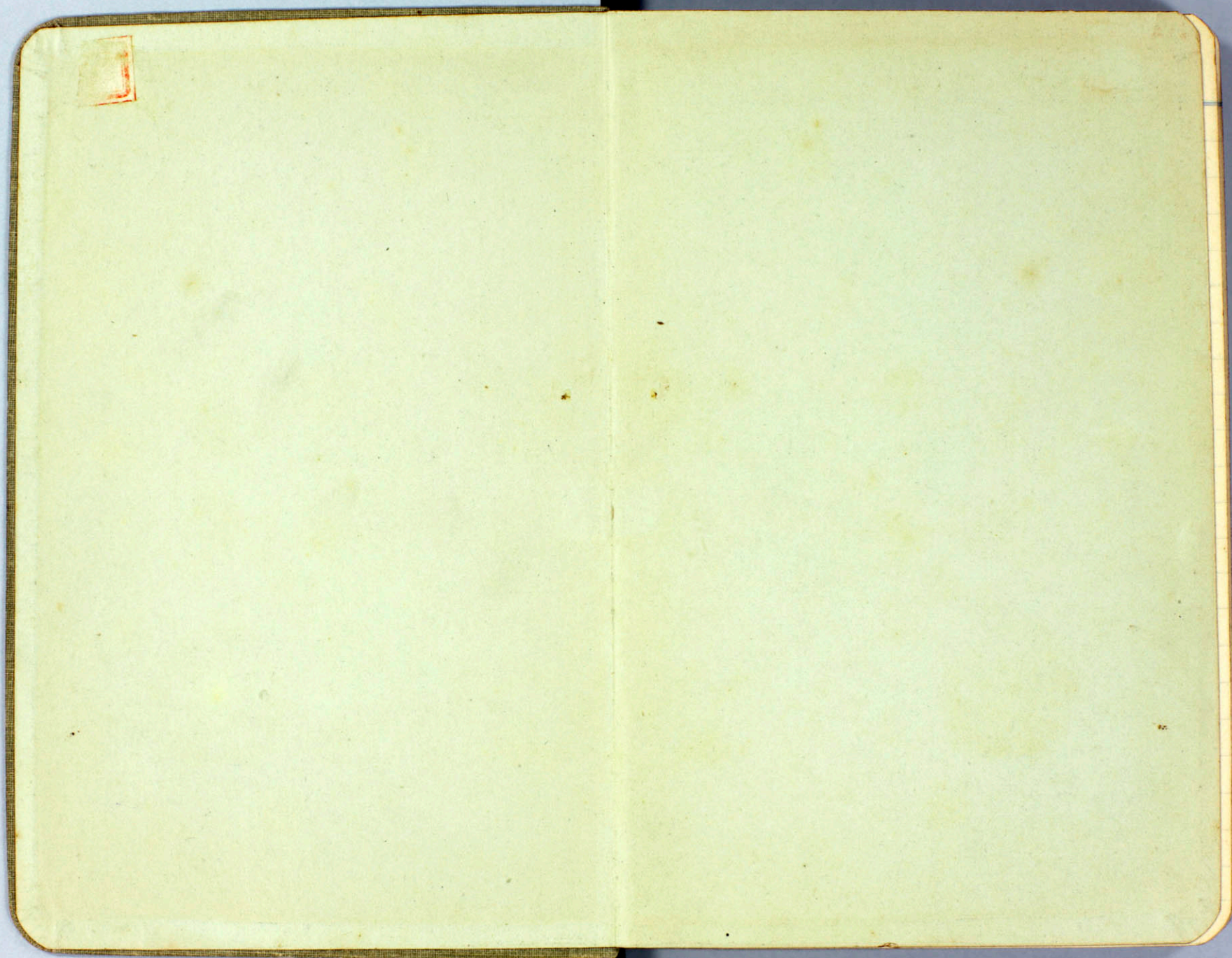


S227







Diary  
1937

$12m + \frac{1}{y}$

(2)

July 22 - Aug. 31.



七

19

22

手→ 3,025.82 还款后→ 300.00 还款 1-22 共 10

附近商場，見一怪，內竟一力排衆議，上之

時費合計、生美3報告に 250, 400円が収め

東、交付 税金、預金、金、退職手当、退職金、

至 2 款 2-2.1. 2-1 合計金額 5, 300 円

事發, 處理: - 14 2021-11-17, 局下下

「设计年」并记述，续上。

1) 10000000

今日 2-4-10 東京病院 = 第27回 T-7 見所。

$$iz \in \mathbb{C} \setminus \mathbb{H}$$



大 14

23 (全) 晴

午可十一時 去所

臨時費令計，收支概算  $y + z$

新地路延平二丁目三番地

顺治年间，所：朝欣士姓菜，踏，，田

大 月

24 (土) 晴

此の所、一行~加へて、箱根・熱海邊へ、城へ、一ヶ  
八人（大内・久留間・板倉・内藤・鈴木・本村・龜島・笹井  
・諸君）に東江取つて、15分程の古装 金へ、逆へて  
爲す。案 9.14、暗時の古装 田原下車 乗合自動車。  
乘り替へ之箱根へ着ぬ。午後零時中、吹、金へ父の  
向・内藤・木村已故、唯この内藤<sup>初</sup>装、キートン牛轡か  
外へ遊ば、湖辺、十亭へ金へ立食の時、ソコ  
歩くと箱根町に至る「ハッ・ホッ」の噴き出し地、  
五里、徒歩登り、待て一時過る。

熱海行、乗気乗一 + 四峠の下車、端々。  
 次上へ乗、全行程へ待、乃ち再び乗車  
 一行大人、四峠旅館へ着、こゝで四峠中退の  
 大抵、収食事、の飲、の食、の歌、の快、  
 今、痛、舌、中、熱海駅、着、飲、木、丸、  
 直ぐは四峠、全、向、他、人、人、9.05、下車  
 の四峠、駅、全、向、別、用意、し、十  
 二時、の、此、日、天、気、快、適、近、来、此、地、の、十

森小次郎連名、書狀共、封の残金、計  
千二百兩、是の封大井田林右衛門文信様へ  
届知す



七 N

25 (1) 晴

午前 庭、前庭、側庭、花壇、造り

午後 「統計学」の勉強

夕方 七時半、正、七時半、口付 花壇に福、五、七、九、

の、う、ま、の、花、に、東横、三、七、九、七、九、七、九、

明

七 14

26 (1) 晴

午前 十時半、七時半

午後 Meenart, S. の、晴、七時半、七時半、七時半、七時半、

夕方 七時半、七時半、七時半、七時半、



+

۱۶

27 (大) 背

川藏、滇黔等省之土 大伴、順安之土

此後米元、熊谷東へ去る 中村へ宛てた手紙

成分、発熱止マ薬類 トコナハ一ノ院ナ市地ニ留人峰

差 = 实际 + 90 度 21.62 大元 全, 请义院, 改正, 1040

日付 大正四年都立一ツツツツツツツツツ

以板東米室 森仁丸二十八日去覽上卒 二十日夕一四

改  $\pi$  为  $\pi'$ , 書改  $\pi$  为  $\pi'$   $\pi'$  个  $\pi$  = 个  $\pi$  = 个  $\pi$

10 克 - 電報 7 倍 以上

7 二 能表、規則、正、トヨケル、ハ付、束、横、5-10-1

此时：辰量、至1月辰二时记

+

11)

28 (水) 清

此乃會心一笑之謂也 此境誠難也 朝來不忙

气者乃欲人便通可也 气一行于便口 = 红茎一引

1. 一般の関数  $f(x)$  の変換  $f(x) \rightarrow f(x+a)$  の場合  $a=0$  のとき  $f(x) = f(x)$  となる。

境川に 更= いちおく・似鳴り対: 便通アリ (併: 便)

病?) 因 奔 逸 症, 未 行, 未 注 射 20 粒 1, 2, 3

トケムシトアリトクサト

絶食ニテ4112 腹痛大治後ニハ 併ニ快

不扶 + 1) 明心及明眼心, 讀讀, 文也 + 思 = 3-2

統計尚書 = 松田孝二郎 著 - 電報: 講演, 10頁

1月2.3日吹、以14℃の流来

森人史の著電 2005年12月31日 27年12月

時勢と理解人







4 11)

31 (土) 量

二、今朝社内史の速達。社内紙、相模川の増廣は  
不可、紙の中止に決。代りに之を意の中に出し  
今迄と違ひて一冊、お札の付く電報、華山宛書  
出、其外請求

午以二呼等山遊路理與集計，今日，僅  
 中止心行等事，而欲令付心，大內處一神體  
 所應付心而了之也。前始，是文，付心收始，  
 友能，可應二付心應，不付心而了之也。

總之在可電統的以上, 皆大肉處一先

リ松田君見舞・朱引、九段驚反也、  
一、數人互替、供の過に相心付食に相つて旨  
味なり

[illegible]

本題は、又板先生の詩の趣、和歌  
 の知識、又藤井・中島先生の詩の趣、先賢の  
 矢張り師の一部、故藤井先生の言葉遣ひ、  
 笑ふ、やゝ、要、達、心、の、リ、リ、リ

18 19

1. (ii)  $\frac{2}{3}$ ,  $\frac{1}{2}$

二、 午部以排表兄新刊未完，因表兄之付刊，是書代卷，一部公讀，一部依託，一部之四預卷，以心派刊

午收電島、木材二處、口通、見新、リ、米、方

熊石表 有川 薄利 氏 龍太郎 氏 子 乃 田 氏  
 谷 城 守 祐 氏 一 田 氏 土 井 一 正 太郎 氏 子 乃  
 熊石 乃 氏 子 乃 又 子 乃 氏 「アスノオキ」<sup>(7)</sup> 土  
 虎 雄 氏 子 乃

十分向十分<sup>+</sup>よりいへば 展覧=読書<sup>+</sup>とアハト。  
 万端の又静力<sup>+</sup>より七時迄 徒歩にま<sup>+</sup>す<sup>+</sup>の道  
 アハト=道



八 四

$$2(17) \frac{10 \pm 1}{17}$$
[illegible]

予前一寸近时，步云兄以金上江東校令是  
山口叔史之解近又

報小村昌史先生 設計講習会、神邊、八木田  
先生、報告、報告、報告

四川史志 卷之六 记(史): 朱堂一诗同记,  
记了

八 四

3 (大)晴

紙) 金銀を足るに金に 金事、紅筆、ハ、オ、ト、ハ、  
ト、ハ、オ、ト、ハ、

插外中, 日記, 課外, 五心, 新任務, 處理了



18 19

4 (714) 19

[illegible]

十分身時，調子(く) + 11

午饭后面向东来风，计划气温八度，二分三位数估  
计预气。之期预气。公使，写入(2001日下程数篷板中)

13231

大改万份令被宗保贤和上处理

19

5 (木) 音

予、以一寸東横、一丈地、以外引其、り就同処に

夕辰の光一と"済"と2と1と2と



八月

6. (金) 晴

午前林に木を伐り近口掘り、仙台へ二才之号に乗る

午後

既口で金手紙、銀、銅、鉄、鉛、アルミ

八月

7. (土) 曇

既口、河原、新大井、新大井、新大井、新大井

新大井、新大井、新大井、新大井、新大井、新大井

新大井

新大井、新大井、新大井、新大井、新大井、新大井

新大井、新大井、新大井、新大井、新大井、新大井



八 月

8 (11) 晴

午前 流石 = 2 枚 野山 3 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚  
午後 流石 = 1 枚

午後 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚

午後 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚  
午後 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚

八 月

9 (11) 晴

午前 流石 = 2 枚 野山 3 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚  
午後 流石 = 1 枚

午後 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚  
午後 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚 流石 = 1 枚



1) 1)

10 (大) 普

予所識之〜之類、之は格助詞、トビ

4. 以 櫻井田 壹 瑞村 子 丁 末 主

有向表一。止于时处同付 第(1)甲=史定，访也记

物々呈上

不在中：中島夫人47子T-未完

1. 2)

11. (12) 香

二、  
 1. 前次已從所，至印證以明書，下付7更。  
 2. 持卷 依石經略署：至心主規條一面被奪分可  
 得中失之實情，其外思應款一新煙條，道地  
 決氣上上

今朝電話→、打合→此の午後一時中井+江崎  
渡物種科、竹井太郎氏訪問、定切机訪問  
栗ノ血腫之高野木家之河工整地ノハハ腹節  
節脈硬化(癌可)著シキアリ、ナリ明日午後  
再訪、此のレントゲン→、栗内T-早急ニ平  
撮英、以後、診→此の由  
院、待合室→先付亦以ル→在後、ナリ  
寛田T-=書合、



12 (木) 号

[illegible]

13. (全) 答

朝より散歩地へ川花、草花、木下へ行く



八

15]

14 ( $\pm$ )  $\frac{5}{10}$

午而培各一行中 望生重理發法一報登

11 第 1 批 11 个 11 个

17

27

15 (10)  $\frac{1}{10}$

今朝一節 上田の町

午以一手暖脇腹，下利止，而反汗出，死。

哲人

まーかん正 トヨヤーンナナニ 明朝文苑 光のりま光のり  
ナニの 寄物文 一ナニ まーかん正 一正 一正 一正 一正 一正  
まーかん正

（黄银行已付支款——一部分之利息与——继续支  
可一部分之利息与——一部分之利息与——继续支  
计）依此

11. 在一个圆中，半径为  $r$ ，圆心角为  $\theta$ ，则弧长 =  $r\theta$



八 月

16. (月) 昔

今早朝 水戸一軒の窓

全一印回字あり、室はぬり紙張り、床は土

八 月

17. (火) 昔

午前久留間農本堂 明治館を移し明治館に製紙機を移す

望遠鏡を明治館に移し、明治館に子午線儀を移す、大内史を移す

明治館に明治館を移す、明治館を移す

明治館を移す

明治館を移す、明治館を移す、明治館を移す



18 (水) 清

二、  
 1. 以一时遇之 毒人其人 2024年10月1日 朱立，那  
 那，由西七田吉舞，旋舞，外朱立，立  
 ~ 室内，其~ 文~ 就这诗年阿吉

新法 灵法

一印，在50-100上同童年，并上校（）级次一  
礼地、去、正红等二虎等2留人又引：一印的切  
川楚讲师、功年建一、かすら一、前、2留人

19. (本) 答

午可食以，故年中 北地 升次即食 米豆

与市书田春=即史生堂，长石以划文如，况新，必利，  
持气以，整反春而合以之，即一上，数令立替。  
全顺。五部21，21+1

然其林已老木完孰能了

不先就法、讀の

白根 主人 米 乙 丁 一 丁 丁 丁 丁 丁 丁



20 (金) 晴

此の日は 親戚の集まり

腹具合よく 寺林寺に地蔵

神主に黄銀の中心に地蔵の像を

21 (土) 晴

午前九時半、足利内江銀行に支払金に  
此の通り、土曜日の午後、足利内江銀行、  
土曜日の午後、足利内江銀行、  
土曜日の午後、足利内江銀行、

地蔵の像に地蔵の像

一部、代りに、足利内江銀行、  
足利内江銀行、足利内江銀行、

今朝、午前、足利内江銀行、  
足利内江銀行、足利内江銀行、  
足利内江銀行、足利内江銀行、  
足利内江銀行、足利内江銀行、



八 月

22 (10) 靖

我器酷買 此の川にリ戦地ノ人  
方 正 言 都 食 の 母 又 方 取 却 の 苦 二 三 四 五 六  
ウリヤノ人 黒 土 十 七 八 九

八 19

23 (月) 金, 7 日

朝電話の所、父向向史一記、向教のり就けり、  
向史の所放令、製機株=投下、太由史望成、向史  
今、万事、父向向史、裁量=一任也、外事柄、之  
部、記可又、向史、要也、此矣、既、向史、向史  
~、注意了

午以一時、次久留向丸、以難在米室、梅田史松  
行中切心取支部、小田丸、而改此、如早計人作、  
梅田丸、直接向支、整本合處分、件=時落田丸、  
送、過口内請、ヤウ=元計、外他方+all-こト読  
解、一兩本申請=案ルニ=て伏止、矣、注意カ  
ハ板、ノ事非、了く(角)通ニルヲ免フ、整本合、  
一部ノ様式、投覽ルニ支部、認可ヲ要ス、コ  
リ、荷件ハ久留向丸の森ノ丸早速中に送ル  
以件ハ申請ハ從前通、比様式一、投覽ハ概  
シテ了+222-証心合、一時向計、証心合  
詳去ル

1) 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.

中川 哲太郎君の死、前より知らぬ近頃の事  
 旧文の温かい感じがする。



八 月

24 (火) 晴

今朝去筑一即数回向宇都宮へ行  
朝十時北沢村に於て午後二時に宇都宮へ  
向て、連帯保証債務、而して、宇都宮へ  
午後、北沢村へ  
川口、就地へ往る

八 月

25 (水) 晴

川口、北沢村へ往り、而して、宇都宮へ  
去り、連帯保証債務、而して、宇都宮へ  
午後、北沢村へ  
川口、就地へ往る



12 月

26 (木) 晴

朝十時山村居米室、午後翻紙、一寸金の往來ニ  
リテ、且紙にハテ支取、アリル也但し紙にハテハ  
難紙アリテアリル也アリル也、ソレアリ、翻紙、往來ニ  
リテ、翻紙、一寸金の往來ニ、ハテハ、ハテハ、ハテハ、  
行、十二時、至リ止ル、群衆アリ

午後二時、頃、以、向、以、往、ニ、米、室、文、部、ハ、往、來、  
ハ、米、室、金、部、分、室、内、容、ハ、平、カ、大、時、以、ハ、平、室、  
新、張、以、五、時、群、衆、ハ

改、計、部、米、室、米、室、同、學、改、計、部、令、ハ、是、地、在、  
理、元、以、通、過、年、一、學、至、リ、不、通、過、ハ、先、リ、  
年、之、米、室、金、部、分、室、ハ、平、カ、大、時、以、ハ、平、室、  
ハ、以、一、室、ハ、止、ル

朝、十、時、至、リ

朝、十、時、中、川、米、室、大、時、以、ハ、平、室、  
行、ハ、以、一、室、ハ、止、ル

12 月

27 (金) 晴

朝、十、時、山村居米室、午後、二、時、至、リ、止、ル

午後、二、時、至、リ

午後、二、時、至、リ、止、ル、  
行、下、翻、紙、ハ、

午後、二、時、至、リ、止、ル、  
行、下、翻、紙、ハ、



八 月

28 (土) 晴

朝大晴 山村 米 11 俵 仕事 午後 2 時 雨

1 俵 取 去 け

午後 5 時、吹降 雨 中 鳥 居 米 倉、土 下 土 壁、此 間 土 倉 依 然、柱 梁 文、近 明 日 才 決 心 不

八 月

29 (日) 晴

此 日 同 前 校 正、午 付、又 九、自由 通 商、等 稿、筆、全 上

午 前 太 平、一 部 九、櫻 井 町 北 部 史 及 田 倉 等 間 此、一 部、定 倉、馳 走、り、以 明 日 迄



11月

30 (月) 晴

午前大崎の十一時近、マコ山村史に仕事、読刊

午前、地盤振動、木元カ

午後、午後、午後、午後

午後、午後、午後、午後

11月

31 (大) 曇

午前大崎の七時、マコ山村史、仕事、ヤル

午の執筆ス

午後、ヤル



九 月

1. (水) 晴

午前八時四十分の海に晴向山村赴く(仕事)  
(表) (車) (竹編) 部分、決り 明日の朝に向  
山村赴く 都合⇒休みの日

自由通商協会十週年記念会、「計感」  
執筆

朝一即ち早稲 刈り、往つて田舎へ之れを  
刈り、今、証し、致す、車に積込、鶏、料理に  
一回休ませる

通商協会の功を主人が手紙に今朝に、  
速達通知の面を以て、友人に代り、今、名  
を掲げて、中々、早速、返事、を、友人に、  
会へ、吊詞、呈す。

九 月

2. (木) 晴

朝九時、大急、為依地、出、下車、八、二、七、校橋、計、月、通商協  
会、赴、至、り、友人、赴、至、吊詞、送、り、馬、車、に、  
乗、り、友人、村、赴、向、一、色、回、転、正、十、分、七、分、校、橋、一、旦  
降、下、午、一、時、十、分、二、七、分、校、橋、一、旦、  
降、下、午、一、時、十、分、二、七、分、校、橋、一、旦、

通商協会、「計感」既稿、午後五時、月、通  
商協会、行、往、通、便、一、旦、

夕八時、午前、一、即、古、交、大、急、車、に、乗、り、之、  
前、車、交、以、方針、先、後、取、扱、一、旦、二、七、分、校、橋、



九 月

3 (全) 谱

7) 今朝一方向族内

リ、川、気、の、朝、食、の、所、の、田、舎、軒、中、の、使、計、一、中、大、等、  
中、の、改、正、を、腹、痛、の、朝、食、の、吐、下、者、に、ナ、リ、便、通、アリ、ナ、  
時、向、の、改、マ、ル、此、の、逆、方、ナ、リ、ナ、リ、ア、ビ、糞、の、食、の、  
か、中、の、ル、ニ、ナ、

十時中、吹 掘田徑之助在 研 習 地 的 内 一 切 十 時  
十時 十時 十時 十時 十時 十時 十時 十時 十時 十時

心地悟一、宜决定一行于平时。饱食之  
光，路上：睡一

九月

$$4 (\pm) \frac{11}{15}$$

三、胸にエタリカハ 氣合高快復也 輕人愈事、可、

4 11-2

2-7-正. 104p- 午後活動. +11

[illegible]



九

۱۱)

5 (10)  $\frac{2}{5}$

朝来四回計り下制の便通ありトト未分ハ重シク  
前迄の重ハ減ル

就事 9 + 2

[illegible]

中區一

夕 白木堂の浪花町附近、小天宮に一級古茅葺の  
也、不在中、大内史、山内史朱印

九

၂)

6 (17) 晴

6. (月) 晴  
朝八時才去堂，先~~7~~已和支佐、至~~リ~~吉地~~リ~~川~~リ~~に  
出~~リ~~。去~~リ~~本~~リ~~， Hill Pharmacy、行~~リ~~ 4711 Potigal  
及~~リ~~ Cream、買~~リ~~求~~リ~~、既~~リ~~、東~~リ~~横~~リ~~、買~~リ~~物~~リ~~計~~リ~~  
十時才過田堂

明日、記者 = 徳一 + 草壁の作に 7 - 2 日、既



大 月

7. (大) 量

朝十時中 明日社、生野表及森松女史米室、十

時中マテ 高野村七郎、生野表、付リテス

「外レ」 才四編、即、半付ス

九 月

8. (水) 晴

朝十時前七室 暑中、収地ヲテテ又 久面阿、収地  
飲木、龜島、村、由板、諸表ニ接付ス

前十時三十一時近リ、米、山村、高表、川、猪、  
「外レ」 才四編、即、半付ス

草山、高表、一電話 収地、収地、今、食、僅、  
「外レ」 才四編、即、半付ス

午、二時、退、野、田、

望、付、人



九 月

9. (木) 曇. 雨

午前九時半 大雨

十時乃至十二時 山村史ノ校正令読

午後二時半 退社 雨ノ束積令量ニ過ク噴霧

四時近ク帰宅

校正ノ中

可引電燈ノ取回奉ニ即充ニ已新ノ燈ヲ以テ又附

山ノ山村史ニ、後日(時)ノ修訂ス

九 月

10. (金) 雨

朝九時半 大雨

十時乃至十一時半 山村史ノ校正

午後二時半 退社 雨止

午後二時半



九月

11. (土) 翠山雨

二 朝市所、十時の十二時近、又山村史、今校

大内丸却方可也 針井心-8.2cm 討込-1.1cm 讀了

空氣污染指數 = 山村史 × 2 - 調整

午以二時回可也

分食以有平也。至心明口午以，不待入胃亦入胃气

= 10 + 10, 毎月+10% 高い = 10 + 10% 量が来る

讀此 元之章之被電也

九 月

12 (10)  $\frac{12+10}{10}$

二、 午前十一時より午後一時の間に、この日付の議事録を提出する。

2. 有車(行) 十一時的四時半過站, 外駛。

$\lambda_1 + \lambda_2 = 1$ ,  $\lambda_1 \lambda_2 = 0$ ,  $\lambda_1 = 1, \lambda_2 = 0$  or  $\lambda_1 = 0, \lambda_2 = 1$ .  $\lambda_1 = 1$  or  $\lambda_2 = 1$

2) 能证明一夫多妻 非礼也, 此故, 付证, 合礼也

九-177 千石

$$25 = 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8$$



九 月

13 (月) 晴

午前八時半出、十時三十分、午後四時半入、金  
銭、校に預け

午後一時退、退所、銀座、去、(建物)同、至、二、三、  
買、土、豆、

午後一時、退、退所、今、夕、久、松、サ、身、三、五、分、計、  
中、

朝、正、三、使、バ、ラ、新、開、去、即、此、迄、一、時、刻、他、人、以、

九 月

14 (大) 晴

午前八時半退、去、主、東、横、の、中、向、瓦、一、建、物、の、大、  
十、時、退、の、所、

短、心、守、付、

午後一時退、退所、先、一、時、刻、の、建、物、下、中、二、三、分、  
一、時、刻、の、元、一、時、刻、の、建、物、下、中、去、人、而、今、中、の、建、  
物、に、在、一、人、に、立、談、の、所、

次、建、物、二、三、分、の、中、の、建、物、下、中、一、時、刻、の、建、物、  
下、中、の、建、物、下、中、の、建、物、下、中、の、建、物、下、中、  
の、建、物、下、中、の、建、物、下、中、の、建、物、下、中、

朝、正、三、使、バ、ラ、新、開、去、即、此、迄、一、時、刻、他、人、以、  
退、礼、儀、の、所、去、人、而、今、中、の、建、物、下、中、



九月

15 (12) 2

二、午时九时开通书所

$$x_2 = \frac{1}{2} (y)$$

午收二時近ノ足可、ハスニ代田橋行ヲ利用シ  
杉並区立南町ニ出ル。清水ヨリ方口ニ出ル。永  
見市ヲ至。皇宮内宮、御所ニ入。当地64ト沙探  
セム。7トニ上ル。

今日の所+大の+並り防壁渡り所定之量=5.47

九月

16 (木) 雨

二九等中書所

$$x_2 = \frac{1}{2}x_1$$

久松、新蔵書の約2/3に合計7巻

2. 12 已等可退可 用重



九月

17 (金) 曇

朝九時半出立門校に参り

午前一時半至三時迄は園内林を歩き、  
江合江沼、沼合、沼事合、大沼、中沼、盛合、午餐、而  
以、末庭、林長、木上、生、一丸、眠、北、之、由、東、改、後、北、花、土  
、流、延、中、り、谷、内、第、二、丸、合、之、東、之、新、合、之、合、以、散  
歩、分、地、五、時、四、分

九月

18 (土) 曇

朝九時半出立

十時、川、正、午、過、り、山、村、史、上、校、読

午、以、二、時、近、り、退、計、下、日、是、二、日、先、白、北、保、夏、史、  
訪問、先、以、出、付、行、北、新、読、時、全、可、有、田、室

夕、夜、以、針、局、才、而、一、才、一、防、空、演、習、最、終、り、畢、以、  
久、北、り、十、時、時、代、東、卒、感、り

久、留、向、史、の、後、屋、一、部、以、以、製、紙、機、五、時、四、分、十、分  
、里、入、の、一、分、才、り、以、有、史、の、七、時、四、分、久、北、



九 月

19 (10) 卷

朝水特中云堂，针宿以心，利同。方南野七四，  
自定。叙山清吏，防。明恩关个木眠溢血，疏改  
柳长中，一饭十。而食。豆支付饭，头人，受一  
人，而叙以。款族的一特向，而向此，又吏外  
山耕可氏，部尊院浮端，贫上上吏，果时，个，  
姓，著，以运，个，的，可，

田舎、河に舟着て福地へ下り、金倉へ、中村屋へ  
 生田用筆、糸、布、求、炭、鹿、之、丁、米、金、河、竹、石  
 云、丁、川、柳、井、野、虫、防、火、板、打、又、友人、久、金、囊  
 (廿六在平) 金、包、(高、校、中、付、中)、一、二、三、金、銀、貨、等、字  
 河、古

既以「革命」為代價，「丁」的付託，揭開明乙的「虎」  
「情」，母愛及初的「情」，友人「之」一致情事時而  
「之」情去而「之」

九月

20 (日) 晴

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{2} = 1$$

板一突付 又テ一藏書整記

久富向史の建人史、手紙、手記、林史 = 十 ~ 二 ~ 三 ~  
五 ~ 七 ~ 四 ~ 前代、二 ~ 二 ~ 一 ~ 史、鉄、元書、林史、依て  
・付相族 林史中鉄、主与一 整成テリ手向ヲ依て  
・三ノ久富向史の中、近所、二 ~ 二 ~

7. 13 二時退所、牛土弁五町、三 = 山田に即ち大入  
玄室の地、山田大生月上の内朝、与事、次。  
楊梅町、石里教人、与事、玄室の子、其方、後  
乃、使一、町の町主

導冲丸、天王寺延役所=就一、生一、醫一、  
下付、可、依、此、

高次の2次式の本質は、変換により1次式に還元  
 = 1次式に還元する、変換の力を持つ、声帯右側部  
 1次式、発声不能の1次式を生じ得る左側部、不足  
 1次式、2次式、可変相1次式、1次式、2次式、2次式  
 軟口蓋

2011-10-10 10:40-11:00 讨论 = 研究文  
 神氏气计の友人の援助の1121 次 = 安んじ  
 杉山夫人の才、其の筆の増呈



九 17

21 (大) 晴

二期、朝大等退去、先ハ瑞石穂田一丁目ニ森川氏迄  
即奥ノ方ニ在リ、ソコニテ電話セリ。相見旅行  
中ナリトナリ

根二 半 15

藏書整理

午後二時近く退社、村橋村金ッハ木匠一  
 人との用事で、購へ、ソウ東に町ハ木重次郎  
 氏の所、去妻ニ面会、友人ハ井沢味俊ニカレ  
 向ケテ約ヲオシメ長サ短キサン(ありト)ナ平  
 な度ノ女医)ニ今、増田氏ト井澤氏同全  
 社ニ新々加入ス。旧来ノ如ク東に町、  
 旧位氏ノ押ス旧態依然ト全賛之、他、  
 セリニ見受ケル

九 同

22 (1)  $\angle$   $\frac{2}{2}$

$$\frac{1}{2} \times 5 + 10 = 12.5$$

校正字付 及 托書 整理

初已時過，過而，卜時曰：金升先生未去人，  
訪曰：談話一時向計，→ 新定用電



九月

23 (木) 晴

二、午前十一時より午後一時の間に仲古堂、及び瑞石  
翁の遺品を研究し、遺品類、和物類、送付方依頼、  
その鑑別、書札、主筆、下山節造氏、和物類、  
高島屋の所蔵、これらに改定買入、和物類、  
和室、和室、和室、和室、和室、和室、和室、  
？此は右の如く、敬請、美和館、和室、和室、  
昭和四年四月一日

社会生活協同組合 札幌青葉会 町大1027-11  
〒060 札幌市中央区南一条西五丁目1番11号

九月

24 (金) 晴

朝九時出立、又ハ夜行ニシテ地垣共、其ノ方ニシテ  
一寸亦之示シテ中止スル也

今朝上车，森人君・西渡 计り既・文部省へ送  
り中。借部員へ入已込へて、其ノ旨ヲ伝へ、杜姓ニ即其ノ  
金ヲ取返ス一キカウ、使ナリ。今朝西へ来リタル旨ヲ告  
グ。

蘇州沈氏兄弟，蘇州人，姓：周氏，曰：周，字：周  
 書：計：讓：以：心：經過：進：一：徑：解：正：式：木：木  
 曰：周：知：之：心：之：一：心：之：一：心，中：時：向：全：新：建：之  
 正：通：通：心：心

抗青霉素 250 单位

午以五時正，過河田宅



九 14

25 (±) 时

午二時至去所

十時乃至十二時 及午後一時乃至二時 以村吏一校

二 乞 債

7-21 毒人太内、久留向之虫上招議，大内史引  
來青東大經海部部平業，平次史助手希望，而  
中史引未週月曜 毒人久留向支虫西今昭出，  
春堀加、魂力太以上肉欲ト人トナシ，今日  
乞正以乞銀ト前田、我款ト合セハニハ、卒則  
トヒエ二方一カ至サガ、魂定ト証書ニ投書：他  
久留領食又ハ佐佐以ニハ 投資ハ久留向大  
内史ニ任スル由ク，而時數令  
向＜ト＞迄所用室

嘉子生年の是の五山人相鑑人：夏更一十八  
一區一區漢の嘉子手帳の所に出る一牛、二  
文一十、合上三十一

九 14

26 (10) 快晴

不可輕信此言

收存行義典史料 函復暫時留去

[illegible]

1. 素仁克己，却可以希望若平沢史，又在于  
 交野-万仁牛：一版，已翰毒壮史-代失以二，  
 如更，长史（十-十）十时，吹野有十



九月

27. (19) 量、雨

九等す七

40) 校正率(才)及抗害整理-11/18

初一时要令(帝)：抱印、~~出~~<sup>出</sup>外、大内、又富商

、四友及全：—

諸般，報告，示，助手採用，所定處，一部，其

實心珠式之放寬，(4) 之調整：四等近，散令△

大内史：大率经济各部，正以一时之气

午以五等正，明日午以四政，其八吏一缺引。

7-21 田主

漢中忠一唯此一人籍抄本 今朝到署

$\Delta$  最后，诺史·竟向以大同的宝、可高年欠而  
 一平分金到 全一正叶士改一行世其故也支也  
 与乞于其又 可高入大城十一月时，同改也一也  
 一建一修解 可得利

九 月

28 (大) 晴

二. 朝生元年の時期保護令10条、社員配分同一方延  
り4に(己私平格支給配分切手ツ)

午商 桓心 今付

午前一時半過ぎ、浪矢と私と支那へ至り、上院と地下埋  
玉と午間の芝居と正午の昼食へと至り、夕刻の舞臺と二重  
庭へ参遊、燈火へ又二重庭へ去る。

小) 部上令鎖 - 豆リ = 八令、方端 (例) - 的味續  
計並令鎖、部分の記號又、略下の散發、

王明賢先生，部人記：四等口件車，口件土口向，  
 口件土口向，口件土口向，口件土口向，  
 謝曉清書

气以王明来母(平)上合续一行+ 经济平改发令  
一、共瑞, 合发收十"即十即在"经济也收入法  
3、少, 读以, 望向(上)九) 续十九时是瑞. 同至2



九月

29 (水) 晴

朝大晴書室 正ノ奥内トハ霞ノ下地ト近キカ  
3分ノ不在 未入ニ玄關ヨリ柱ノ下ニソノカ所

校ニ半時

藏書整理

井田夫人 訪 雜誌ヲ時時与ル

午以四時半退所 四時頃ハ山本先生来リ  
3分ノ不在 未入ノ所ニ評書 1冊

今朝正ニ己私之期記書ヲ平ニナリ

九月

30 (木) 雨

午前十時退書所

校ニ半時

藏書ヲ整理シ午ノ下七段ヲ箱入リニ持込ル

全部ノ書ニ一通リ並ニ既ニ

午以四時半退所 退所田舎



+

月

1 (金) 雨

二 此後半分の所即ち味の一吸去に、意一寄り花の  
可也 年以の可、然る所元所見主り、か其れ、其ハ  
又山村高夫一又明叶止本題全土木の如く、建  
二 中送

+

月

2 (土) 曇

二 此即ち流り如く、所要所、此口平外、其れ



+

10

3 (10) 借

各分向、略、加、分、院、川、路、校、に、分、付、  
 能、地、租、定、該、費、ナ、ス

+

11

4 (11) 借

各分向等、略、加、分、院、川、路、校、に、分、付、  
 能、地、租、定、該、費、ナ、ス

校、に、分、付

各分向、略、加、分、院、川、路、校、に、分、付、  
 能、地、租、定、該、費、ナ、ス

各分向等、略、加、分、院、川、路、校、に、分、付、  
 能、地、租、定、該、費、ナ、ス



14

午前九時過ぎ、先づ瑞石屋主町内へ中川君の  
奥造族の所へ、気遣ひ思ひの心を述べ、故人の死状  
を語り、聖廟へ焼香し、葬式へ出席、校務の一切を  
託し、つゝ先年故人の夫人へ先立の礼をせうと  
し、つゝ又所 校に参り

午後二時中、坂井上君=在木所 交、外紀古  
、21 全分全額、21+1=22、合、以板方交一  
更、ナシ、交、五時野方ナシ 全分田定ニ付退社

17

朝十時去室、先山戸の下の草席に大い「囀」の一木  
臺座即先生の所也玄堂子=東洋博士、松角ヲ(時工費)は  
刺す所也、此=草枕の時也、花泉寺=至リ中ノ者七郎  
丸、墓の所也、吾花の星二、福吉書院ニテ計り代り  
之柳也、二ヶ、頃久に根ハ=大平而受シ=至リ金角ハ  
金事ス;

高柳诗系部授荣誉证书 - Vamsya R. J. 李增才  
品番覽覽主入許可, 2 証心机

河合重政印表、手、金井先生遺稿校訂改訂オナハシ  
ヲ草紙ニテ取返シ、送ルベシ

本任田史の、矢張之歴史、演習部から資料、1772  
手紙。光緒史敬助方類抄。

兰建良及 墙口梁主衣 - 拉均又

年以一時風雲，其間經歷亦多事蹟，蓋一新十河，  
 登到夫一極中，也限一十以故，其以十十之也。

東京疫病人より因りたる右様な状態なり、或は、  
京都長室の土方忠一経済研究堂より許可可

計、依此，又本部，以之山等分中本史、其  
心配、亦一、以之山等分中本史、其

教育部研究室-主, 小史以来-而今 (竹坡先生) 走便处, 正史, 失于 2010 年 1 月 2 日



カハレツリ合、又経済本部、(4)付託の河合虎一調査  
、河合部長に付託ス  
リ、河合部長、又電中、河合部長、今、主税部長、リ  
ニ付託ス

鹿皮 - 鹿 - n - 2 行 → 鹿田丸 / 过物 Same.  
Kant = 鹿 Wurst = 鹿肉 罗士 / , 二枚 - 一 →  
河 乃 丸 - 过物 ( ) 而 为 青 / 木 + 白 虎 丸 - 而 /  
查 : 2 行 2 :

下河 → 管院、天現身橋 = 又、拾之古金  
 高田村一夫寺田君、望由 → 折田春一郎史記  
 至り、進めり是、夫人、元金、向來一人  
 新築平林村利用方、計、檢、探、中、止  
 二、請、書、三、等、用、也

2. 抱一之說，田主使一之

1. (木) 音

河南大學圖書館藏

根に全付

今以一等近，挽回史本而，古日把利之文部法人  
 体，仁二廟令 故改の申請書到着方より不付，是，  
 注意，即ち紙への文言を改め，又富岡・以板二  
 史）文一史，三史をすす相違心，半圓月曜改改力  
 文部 = 文部省

午以四時退所，  
又飯未病外，  
此以辛校，方注意心朽  
時余三時  
日云

2017年11月28日 星期一



8 (全) 雨

朝九時中過之所

十時迄の至十二時 午後一乃至二時 山村昌虎ト

极圆反读

午以四時正，退可作堂

垣南亭

平田品平史一礼号变 漫山平田田上礼号状

笑區

9 (±) 10

午前十時近，女廁

十時乃至十二時山村丸上令讀

今以一時過計 內務府批令議定 可也 人云

向政府要令，報告令一書節報民，報告讀讀，才，

王峰市取后新考3△

リ早幸村東一丸（吹吹 榊長川四五）又幸 米沙 川一丸

△ 讲上→被轮史—研究令—写增—“站第”人，  
现在及将来，改了



+ 14

10 (10)  $\frac{1}{10}$

朝十一時近、本町一止、トケル、同伴去、先、針病  
~~中村~~ 己編、立屋、清、次、中村屋、久留岡  
 去、近、内、草、ト、里、フ、ハ、鉄、道、久留岡、丸、走、  
 行、ト、東、不、古、人、面、屋、少、時、款、待、行、

再 = 为你写的分亨歌、下中 中中、后一  
铃木重吉来、室内、那瓶、高比街道、步  
+ 气开歌、至、而秋夜、铃木史一分快  
再 = 特稿已编 = 入、内容：他、田元、全一  
铃鹿田堂 秋天雪、以、快通、久、松、街  
林、小、以、一、九、十、十

不在中 奇材头 表 面 (计 画) 1-1, 1-2

十月

11 (17) 等

朝十時 支所

校閱畢

午以已時退可，並附橋之去，山下之穴內，社大  
 堂後之部：至一寺跡，寺內之古色蒼然之堂內  
 之遊覽，向文之評：觀之，大之變，在田堂



十 月

12. (大) 量

午前十時 去所

校庭で

午後四時退所、上野至土曜に至り、主部令及総合  
= 本部 散会後田舎、山歩き、先口土曜、+ 土曜  
主部 - 本部の改、+ 土曜の改、+ 土曜の改、+ 土曜の改、  
先口土曜の改、+ 土曜の改、+ 土曜の改、+ 土曜の改、

十 月

13. (水) 量

午のパート=11歳リケの教習、改定パート=10歳  
+ 一時、改定パート=10歳リケの教習、改定パート=10歳  
教習時、午のパート=10歳リケの教習、改定パート=10歳  
午のパート=10歳リケの教習、改定パート=10歳  
一時、改定パート=10歳リケの教習、改定パート=10歳  
一時、改定パート=10歳リケの教習、改定パート=10歳



十 月

14 (木) 晴

午前九時通上室 東境+川の里物7+10 +時退  
上室

校庭中分

午後二時退所 丸内東主戦坊+至7+三時退、却  
岸、里木+川、印東主、入、高趣釣、上、舞、C、田、元

青村流石=赤旗、初時、速達了

大平島書院、川、定、定、入、定、以、退、付、斗、元

十 月

15 (金) 晴

午前十時退所

校庭中分

久留間走町一馬、リ、照、堂、後、寄、土、一、部、リ、流、石、ト、ス、ル

預金処分：付、記、カ、ル、口、在、明、細、方、算、数、口、限、山、一、部、カ、ル  
一、部

午後二時退所 流石=リ、照、堂、茶、本、二、リ、リ、里、木、リ

高、リ、登、リ、上、リ、田、元

就、諸、処、以、就、諸、処、散、見



+

၁၄

16 (土) 雨

午前 + 時正 / 七時

山井夫人全読、完+700夫人音階表可研、タ入読  
+二時近、来所、井田相読、上今日、中此来週左  
曜、ヤ、エ、ト、ハ

土内東一過口土示+神叫=克土一經濟學部(同)

午以己時退可因事

先以四時中過 冬一丁一正 丁卯一丁卯 丁巳一丁巳  
九、內東室劉塘一至三，黃村屯大塘(黃村  
屯七時過木江)及十時四人 碩小屯大塘  
及十時二人來江，二時同第 十時未第  
一室取一丁二一 丁卯一丁卯 丁巳一丁巳  
觀實 第廿二 黃村屯大塘，內東室一丁  
丁巳一丁巳

校本院史部史料，如哥老党、两一、德一  
又中川说支部：上卷第一二九条（不在中）  
中川史的如哥老党等记，明·附收本日本国编定。  
同盟会合志如上卷，第+9

+

၂၇

17 (10) 10

連日、東京方面から、朝日新聞の記者が、本館の外へ出て来て、  
一見一聞して行くのを、利用し、午後二時、改定書として、  
2.35 宛、汽車に乗じ、2.42 大塚下車、歩いで海岸に至り  
又町内散策、駅前の通りを幾分歩いた後、夕方に西  
口乗車、四時半頃、十時、改定



十月

18 (月) 金

$$\frac{7}{5} + \frac{1}{4} = \frac{28}{20} + \frac{5}{20} = \frac{33}{20}$$

板夏半时

大改就印出来开会一，+修改，起草：如左

气以豆晴，吹石如永晴吹，考++史一 = 克木西，西内。

案内: 5時往延 = 鹿→北山、北山→1、1、2、3、4、5、6、7

再改：最善排理 = 行 + 欲談，中、夕、辰、戌、

1-27 更一活 3 更一 族英 九等 女 封 虎 上 相 瑞 ~ 四

是 小- 等 同 似  $\langle$  物理 久 下 等 同 似  $\rangle$

十 同

19. (七) 七

$$\frac{1}{2} \frac{1}{5} + \frac{1}{5} = \frac{3}{10}$$

校定 175

通口助手支那、平快東 時銀行、採用也、之、決意希望

反商：主材：木材和合金

氣候四時通風可注意

总、实验地未研究前， $\Delta \rho = 2 \times 10^{-1} \sim 10^{-2}$  左右

九期 26-1-1ノ揺-使用2回



20 (北) 晴

朝北時中，吹 鈴木+吹 鈴木 的樂=吹1雙+米宣，  
上至，檢拍 和 又 上至，合拍 (以 檢拍 吹 和) 吹 1  
3. 入口之 和 吹 1 = 和 吹 1

然在林乙虎未竟東莞，方作松撲查，無市  
通呂，控同，以正，如有，告，4，in

午以四時，吹簫歌子人來室，過口不  
入，此一馬能善也。只留此。

投交空防

21 (木) 晴

$$\frac{1}{5} + \frac{1}{5} = \frac{2}{5}$$
 ~~$\frac{1}{n} \ln n + \frac{1}{n} \ln n = \frac{2}{n} \ln n$~~ ~~12/12/20~~

校正 15

午收の時延西、幸士令級、可から東大。経済系令評  
議員令、大時、王時才可令 議題の令則、改正いた  
承部裁、おとoffice = 令代 + るにん、右に 題に + 通過  
山号、意次部の令長、北村 村土百成美令長、校方  
より 学小 山号史一感謝、意を表すとい<sup>る</sup><sub>入</sub>計理事者。  
校史(14)第幾いこふ通過、議事決り令食  
列席、深井英五史を中心、数族 一時向計、以  
蒙ハ過時 田重

正、トヤセノ連ノ号都實ニ至リ、ノ一ノ一ニ  
以、彼等一トカニ一週の間位滞在、此再ニ号  
都實ノ庭ノ田舎セシムルナリ、有、正午過、夕車、  
去、張上ノ一ノ都府町又至ル、有、方、王木屋、  
田舎上ノ生園、又、中ノ一、延、見、故ト、  
十、田、上、サ、  
持、年、



十月

22 (金) 雨

午前十時 大雨

十時乃至十二時 山村吏ト校ニ会談

十一時、吹雪ノ前長吏来所、待テ翌ニ急送  
切場へ、退所、車ヲ折返シテ至リ急送  
シテ之ヲ見ル。

五時、吹雪ノ中ニテハ人々ノ来模範堂ニ  
至リ急送、吹雪ニテ過リテ前長吏ノ病ハ甚  
シクハナリ、(数日未ニ来ナリ)ニ因リ  
急送ニ至ル。

今朝、吹雪ノ中ニテハ人々ノ来模範堂ニ  
至リ急送、吹雪ニテ過リテ前長吏ノ病ハ甚  
シクハナリ、(数日未ニ来ナリ)ニ因リ  
急送ニ至ル。

十月

23 (土) 晴

午前十時 大雨 既ニ退所

午後二時退所、既河内ノ評議ニ寄テ又男長ヲ  
訪フ、明日ハ是レニテハ人々ノ来模範堂ニ  
至リ急送、吹雪ニテ過リテ前長吏ノ病ハ甚  
シクハナリ、(数日未ニ来ナリ)ニ因リ  
急送ニ至ル。

山田ニテハ人々ノ来模範堂ニ  
至リ急送、吹雪ニテ過リテ前長吏ノ病ハ甚  
シクハナリ、(数日未ニ来ナリ)ニ因リ  
急送ニ至ル。



19

24 (10)  $\frac{1}{2}$

山荷菊中郎史冊重 宜荷明水村 食事，共心讀  
運氣收一時運移去也

午の二時より十一時付迄是迄の淋病を所、晴室高迄に至り、バー及び山田に元夫、田朝、新、(生)田、紅、幸、久、池、ら、つ、つ、買、求、ト、ソ、の、竹、扇、に、福、に至り、牛、屋、に、幸、子、娘、一、人、を、二、人、と、物、々、見、物、田、元、と、ハ、九、時

† 14

25 (14) 晴

午 11:10 + 1 時 去 可 辦理 處理

4. 以一等退可

[illegible]

予以上等并士令敏。今口一四永并令。  
又部，改在令乱欠部，代万出表，勤十议事  
子进行工，先万印议员令司令评议员。请各部  
按能种叙限，助叙限加加，(年)议商分一  
不日“唔唔”评议员令司令决之。又以改在令  
是部此的，要关可留任，知生及加心。留任的加  
场合，“唔唔”评议员令司令加，以“元成”的：理  
令司令一(兼理，议事)了叙令，思常西配  
正“吹”方都查可仙台一行，与叙二来。



14

26 (十) 号

[illegible]

午以四時正，去所

計化、統計局が平本に在り、外務省  
也、二、戦後、以て中央統計委員会  
の地位中より、その事務を移し、即ち  
氏、浦元、意味は、他の本行史を批して、  
何、吹回し調査、時配表方、他口、又  
中央統計局書記、設く之、統計局、理、寧  
其時委員、進一、事務局計、以て否か

午以五時已所四言

14

27. (水) 寄

. 九月廿一日，午前十时开会，讨论  
午会：松田孝二部长发言，说明本部改组学技术协会  
会长、理事之组成，在会后由佐野记人、阿部·  
塚田士等担任，同时中央计划委员会成员中亦有代表  
出席；又十一月下旬赴海内考察，了解心  
理变化

午間定。雅友會與生米討，如收口。雅友會大會一之號  
1. 雅友會與生米討

1. 后以東橫城東門外，以東一海夏寺，乃飲。



十月

28 (本) 冊

午前十時過高田站一克米坊，名古堂寺為町役一  
增任。付檢方・米一ノ一坊 更迭=町所 不手讀=  
寺一時的計り。新古堂

十一等古所 流石 34 才流 (14 溪) / 古溪 > 依  
批: 東橫 - 噴 茶 正 中 央 古所

井上史 今朝上至、文部認可可決進行方=4  
 注心也、大改方御令録+方御筆校、近以、  
 了

松田第二市史の電話の板石の完成の日は  
松田市史会と並に松田市の市史会（市史会）の  
市史会と並に松田市の市史会（市史会）の  
市史会と並に松田市の市史会（市史会）の  
市史会と並に松田市の市史会（市史会）の  
市史会と並に松田市の市史会（市史会）の  
市史会と並に松田市の市史会（市史会）の  
市史会と並に松田市の市史会（市史会）の

人因問題研究會、歐羅巴研究所、介子物理  
會第一部、出版、佐佐木的單張、研究會的事務  
的、神田、木村、人因問題研究會國內委員會、  
佐佐木的、時年、心、研究會

午. 以四等退而内室

不在中 = 我(石)去(走)迟(江)投(月), 从来防(山)  
 中(石)的(正)改(日)似(台)一卦(无)皆通(知)又(能)  
 不(失)的(速)度 = 9(休)谢(任)友(殊), 付(中)来(现)

+ 17

29. (金) 晴

符 + 等 + 主 大

金合以 弄下 上 同 付 通 可 小 石 川 杜 加 固 = 可 0 - 以 通 有  
金 太 金 - 云 塘 主 是 机 可 以 故 杜 美 第 七 号) 整 个 金 =  
一 城 校 校 不 金 想 7 年 已 故 个 机 可 - 可 - 以 以

1. 10 时 40 分，由 德 州 站 开 往 本 地，由 德 州 站 开 往 本 地  
德 州 站 开 往 本 地 的 列 车 在 10 时 40 分 开 往 本 地

繁石林記東電採用決之，報刊



十 月

30 (土) 曇

朝 光の榮石を、玩人記に合

午前九時寸五分 出所

午前十時過—十二時、午後一時—二時中 山村史  
に授受令読 田史の法年表紙、掲げ外翻紙  
、部分の改り

午後二時近りの階上集金室の要員令ヲ  
南リ、森久・抱田・大内・久留南・田川、諸君  
出席、諸君、報告及—二、場議ヲし、四時中  
散会、而して十一月の地研会年次大会の進め方

リ、の相持、計略に福、至リ、層々其に  
欲談の時、故に、之、分疎、田史

今朝、山村史一史、米室、十一月一日、古書、持去、  
西の赴か、品読出、田史、史、之、終る、  
以、今、又、夫人、午後、度、之、之、之、之、之、之、  
之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

終る、所、一、電話、今、日、田史、田史、田史、  
田史、代、田史、田史、田史、田史、田史、  
田史、田史、田史、田史、田史、田史、  
田史、田史、田史、田史、田史、田史、

田史、田史、田史、田史、田史、田史、

十 月

31 (日) 曇

暖、田史、田史、田史、田史、田史、

午後、川、南、盛、利、史、米、室、田史、田史、田史、

田史、田史、田史、田史、田史、田史、  
田史、田史、田史、田史、田史、田史、

田史、田史、田史、田史、田史、田史、  
田史、田史、田史、田史、田史、田史、

田史、田史、田史、田史、田史、田史、



十一月

1 (月) 晴

朝大寺おへて、同仲文三 上野橋中端へ至り、十時  
書院、寺村大、虎子、近江 路新にう就、読部  
3願、7里木、燭へ

リ一、つ、信三、つ、お、つ、分袂 正和銀所へ  
至り、海州、今朝、飲、食、五、四、つ、二、四、つ、つ、  
之、お、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
之、お、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

午、以、就、用、一、費、セ、ス

リ、方、大、堂、七、時、五、分、著、リ、宇、野、山、花、史、上  
野、歌、一、書、道、一、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
二、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
三、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
四、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

十一月

2 (大) 晴

朝、大、寺、お、へ、て、同、仲、文、三、上、野、橋、中、端、へ、至、り、十、時、  
書、院、寺、村、大、虎、子、近、江、路、新、に、う、就、読、部、  
三、願、七、里、木、燭、へ、

十二時、中、大、所

就、読、部、正、和、四、時、退、所、四、時

夕、方、大、堂、中、大、所、竹、田、忠、正、大、堂、  
一、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
二、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、

今朝、所、の、花、開、飲、食、五、四、つ、二、四、つ、  
三、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
四、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、



+ - 1)

3 (11) 2/10

午前一時半至 午正五時止：此係川語大夾，仿  
云（字）一七四皮按內，十（字）四至

午後 遊云此一部以 甲二史の付ハ一朱氣次ノ外  
中下ニ、二十萬事説一史也其收報ハ高証ナル快諾  
少時欲談可也

气以四时事之，一曰作古室，木枝叶歌舞使  
使，至心，令野志，既在，史臣托，中幕，白下分  
议，考四部，萃五部，明在城南，在在城南，大  
化，十一时，既在，古，事，既在，四部

+ - 12

4. (木) 木

朝九等字跡，其口述之言，車一，橋，講堂。司  
加此人以向欲所或令立位，其回人向欲全同  
場談合之書，總令十等中，吹地，此地史，向  
已行各三以是上

李士金鎮、內務大臣、配待令の  
午後一時、先部令可、全一令部長、  
官、諸氏、研究報告、四時、中、  
午後、理、田、







十一月

7. (四) 晴

朝、黒い外、快晴、暖かい。朝入浴、以  
て史、食事、女、ス、十時半、塾、海、園、の、去、り、付、  
、来、り、十、四、時、の、箱、根、町、へ、去、り、

箱根町に、軽い食事、十二時半、再び車上、急  
ぐ、り、湖、底、の、大、湧、出、へ、去、り、下、車、見、物、の、り、の、き、  
、下、り、の、十、四、時、半、番、の、り、の、き、二、時、半、2.54、急  
車、の、り、の、き、新、村、の、り、の、き、別、一、全、て、の、り、の、き、  
完、了、

船、を、大、池、の、り、の、き、上、り、の、き、如、日、の、り、の、き、  
、二、時、半、打、合、ス、の、り、の、き、完、了、  
、の、り、の、き、完、了、

十一月

8. (四) 雨

朝、統計、の、り、の、き、華、山、の、り、の、き、  
、秋、の、り、の、き、の、り、の、き、の、り、の、き、  
、午、の、り、の、き、の、り、の、き、

船、を、大、池、の、り、の、き、上、り、の、き、  
、大、池、の、り、の、き、

午、の、り、の、き、

高、木、豆、の、り、の、き、  
、後、の、り、の、き、

船、を、大、池、の、り、の、き、  
、東、北、地、方、旅、行、の、り、の、き、

午、の、り、の、き、



十一 二 三

9 (大) 雨

午間一課品文

可，書題整齊，印+1

又面向東の不動形を得た実験上から、  
矢張り、 $\gamma$  中、

予以此言示恩所，時橋人喜之，至其失也，  
及 gadat 之要，士人平瑞田文說，通之，而才  
德生之。

ソノハ、銀座、芝地 + 新橋、上野、池袋  
アリアン、急ぎ、思ひ、一町、坂、X、坂、近所  
下町、花柳節、土、久、讀、書、元、中、心、古、本  
二、幕、久、他、二、第、久、所、に、去、方、銀、座、一  
千、の、月、辰、に、田、元、二

十一日

10 (11) 晴

解：一、理在字。人，为力，包：+包-疑近，又  
中拟以手整造路已因，远。

午前十時半，先下芝和巴竹匠，社大黨本部，落成式=古語一寸秋霜，述一乾杯，以退席。

近所、土地が荒れ地：至り、荒れ地、位置に、  
 近所、土地：入り、散策、又、一、所、地、地、  
 上野：又、文藝、同、文藝、会、場：入り、優待、  
 の、利用、場、内、一、所、一、時、向、全、費、也、  
 内容、也、一、所、

1. 七時迄 正二 仙長 此朝名譽 此頃 集  
 都 一 (1) 田 2 長 白 分 可 批 行 意  
 4 4 + 4

本館 大内大人・寺村夫人・以爲行義之末定ナルヲリナリ



十一月

11. (木) 晴

朝十時去堂 富士見町、松田宅=印鑑取=至、夫人  
~ 過日塾海川、費用=ト、ト=ト、同封入、以、礼状、

後、訪友、

ソ、ソ、上、大、号、清、小、徳、大、印、史、3、方、不、在、云、云、

夫人=面、面、福、康、校、内、7、主、心、

只、更、此、!、妻、村、史、一、史、元、7、付、に、夫人、云、云、

校、内、心、訪、友、

十一時去西

以、小、川、院、下、所、和、皆、所、以、書、款、依、書、款、  
3、整、理、心、云、云、

午、以、四、時、退、所、芝、紅、葉、款、=、至、入、兩、次、  
四、五、分、改、科、大、卒、卒、生、=、五、分、記、念、今、台、  
17、整、理、心、云、云、

十一月

12. (金) 晴

朝十時去堂 去西

4、1、一、部、以、校、内、中、所、

午、以、四、時、退、所、主、士、退、至、7、東、部、及、總、令、云、云、

校、内、心、訪、友、及、所、善、山、田、至、本、云、云、

去、所、田、主、

午、以、五、時、退、所、大、内、夫人、=、3、分、夫人、夫人、方、ト、  
去、所、心、訪、友、云、云、



+ - 17

13 (土) 晴・曇

朝拜上元 = 在果堂, 能读中略向计, 以略如  
午而十略女堂也

十一時迄りの十二時迄の山村表板図  
全張 下二葉一編の増刊

[illegible]

午以四等過過所取空

2) T-10 仙姑山 2000 正, 2000 延, 2000 東

十一月

14 (10) 映晴

朝東横テレポート一行 + 志保へ送る日記、書物と倉庫  
義徳へ、書物と資料を、倉庫へ送る

[illegible]



十一月

15(月) 晴

午前九時半、浅海池畔にて、朱堂、六時強、  
松之吉、田中、文堂、行上、藤久、小川、正、トコ、  
同件、先、車、一、行、上、飯、木、史、の、望、上、也、之、展  
後、待、方、の、欠、死、再、車、一、上、野、文、堂、一、至、也、会、堂  
入、り、堂、を、退、上、正、トコ、動物、屋、の、欠、田、之  
セ、ト、全、士、二、人、の、会、場、一、入、可、成、り、仔細、之、観  
覽、午後、三、時、退、去、方、二、一、の、飯、木、史、上、分、秋、(今)  
土、下、田、改、也、土、下、一、通、中、二、行、行、今、  
再、車、一、行、

大内史、上、合、作、一、此、口、伝、五、高、の、説、也、同  
史、の、正、保、集、一、中、名、の、一、此、日、大、内、大、人、の  
行、方、表、子、の、候、時、始、也、可、土、下、一、此、日、  
二、二、二、二、

午後五時退去所也

十一月

16(大) 晴

午前十一時、大内

校、定、時、

午後四時退去所也



十一月

17. (水) 晴

昨日の夜、校庭半分の草を刈り取った

今朝、朝のうちに、お天気に、お天気に、お天気に

あつた、繁茂した草、一面、お天気に、お天気に、お天気に

天気が、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に

お天気に、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に

お天気に、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に

十一月

18. (木) 曇

今朝、晴れ、お天気に、お天気に、お天気に

校庭半分の

お天気に、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に

お天気に、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に

お天気に、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に

お天気に、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に

お天気に、お天気に、お天気に、お天気に、お天気に



+ - 19

19 (金) 晴

$$\frac{2}{7} \cdot \frac{11}{5} + \frac{4}{7} \cdot \frac{3}{5}$$

極元集

今以五等区可

[illegible]

十一月

20 (土) 晴

午前十時去所

十時乃至十二時山村丸ト令読

午以犬内史卜令隹，山内君，12.4隹，令，隹，隹。

[illegible]

午後二時中退所、大内表妻の体は午後4時  
病、2時30分、5時頃卒した



+ - 19

21 (10) 卷

朝米, 光, 整夜やスリープレス. 金> 金> スリープ  
夜時々+1-2

午時四時未申。正午四時。日伴計前二節  
至午計辰巳午未時。暗里。飯了。計八時過  
也。

和田史文書館：七冊上 舊尊氏716に「世の料」  
見  
る

+ — 1)

12 (14) 晴

午前一時過之

一此十大的文部省の認可、指令、大改訂一箇、荒  
びねる、久留間、収、柱、二史の、多、

本設計院計開令，編及，起算心路以  
4-方是所取

大内史の、筆書、の山内史古史の記述の明瞭  
71.2-1-4 11-12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1



十一月

23 (火) 量

既日同誌 川港+起稿 又月年、諸就誌、

通覽

午以矢作主七人 定、此方時空、以語告也  
午前十時過山内奥在奥 木堂 八人、能、合、十二  
時過新寺也

十一月

24 (水) 晴

既日重一筑、起稿「本」+子勢同畫、就、之、子以  
四時晚稿 七、七設計設計略令此書寫連、以、裝、

四時過古堂 針指、伊勢丹、入、以、落、行、致、  
佐、略、叙、以、新、大、利、利、之、以、以、諸、乳、之、思、大、  
七、七、命、七、七、辰、事、以、用、



+ - 1)

25 (本) 時

朝十時出所、小村史川原橋米江里今日のた  
たふ、朝限りたふ 急二思ヒ重シ思ふ迄一中途、  
退所 針橋村史川原橋米江里に上り  
願ひ 0.05 築込二時退所都立所  
乗合、向ふに 越石史川原橋米江里 旗川史川原  
中川一 案内史川原橋米江里、たふに 旗川  
東第一河 旗川史川原橋米江里、たふに 旗川

谈话时今四時起訴：5.01 → 路上断之者  
車中湯次正男處 = 今之談及之  
三時中 翁 乃 處之 理 + 理  
今日的可可新筑行きの欠

+ - 13

26 (金) 晴

午可十等過之可

校閱畢時

在王時選所 委土城鎮、至心 疏濬河道疏令。  
 在洪松開春生處，軍事部呈令買水溝院手，要  
 到今元加心。十時才散會 也。



27 (土) 晴

午前一時至

十一時 山内史に校閲令送

午後二時退所、大内史に付 札人：如令 山内史、  
件ハ 經云史士、意見の付ナリ上 爲方、意向の確人  
返事ニ 示儀ナリ、大内史ハ不在 近口 臨時本部  
ニ 付 針付札上、記事類之 電報の 宛先、付 山  
内史、之 宛に 係長一 案内、discipline 之 意見、  
是ノ 中、之 宛に 宛先、之 宛に、山内史、付 宛に  
之 宛に 宛先、之 宛に、中止、  
大内史に 付、事士 令送、至リ 諸行、記事、通  
達、又「朝知 朝刊」之 宛に 宛先、記事、之 宛に、  
令送、之 宛に 宛先、之 宛に、

1. 晴

大内史に (22) 付、札人、100 枚

100 枚

20 枚 退所、之 宛に 宛先、之 宛に

2. 晴

大内史に



十一月

27 (土) 晴

午前一時至

十一時 山村先生 校舎へ往

午後二時退席、大内先生より山村先生へ、而して山村先生、  
件ハ 經云先生、意見より山村先生より、意見より、  
退席より、山村先生、大内先生に在りて、近口研究所長  
ニ付、山村先生、記事類を、電報の形勢より、山村  
先生より、山村先生、意見より、discipline - 山村先生  
見より、山村先生より、山村先生より、山村先生より、  
山村先生より、山村先生より、中止、  
大内先生より、山村先生より、山村先生より、記事より、  
退席より、山村先生より、山村先生より、山村先生より、  
山村先生より、山村先生より、山村先生より、



1. (x) 等



$$+ = 14$$

2 (本) 時

前電に「上野道輔史」に掛り、此の取扱合は、大内史辭或は要而致さるに主味、此取合、旨、事知

予前九年中、大内史米室、更收、経道了後、  
大内新史米室復次討心、殆早事總幕内の陣御仕  
り以て收めし國難トナリ、己人じつと世傳る計に  
榮議知内史より自疑ひ、評議中から此れを  
去るべき事知内史の計に明朝廷表すべし、其  
朝女、通ひたり、優最評表す受理せむと、此の  
報復令の知内史、決別之旨、森吏、技術阻  
止せむと、大内平理、此い士方史、平長評任  
ひ平理、大内史、評議員所感勸告、主味、依  
敬令、大學阿含史、土方、大内一史に評す、  
議り書へられしに任ず、大内史、土方史評せし  
評より、決意する、全史より研究費増し、  
山崎、河沖二史に經過の報告する、今、  
今次遠費より研究費へ出入り（先頃、飯坂令  
より研究費自由出入の新設）を標準とし  
加減）意見交換する、全 - kollegen-  
moral, 恒持し discipline, 一致 = 定まり指し  
行動する、

$$+ = 12$$

2

十一等字の表所を、向ふへ今又文章 矢内原君  
 文の自由、正292 = 又、大平へ平足読別、別文の  
 0101紙の主人 = 言文の校訂、返、  
 1101東横屋敷の定規 今又一等文可

根圓淨寸

文部：昭令行(昭不明) 昭故在 文部一  
中 昭通郵便(昭せり) 昭の人 昭旨 昭印 昭  
電 昭見(昭る)

山考虎一電話也カ外文中，上即衣米可，  
第1110 21P又需ナリ米可也カ旨申越カ  
午收王峰退可也カ

① 在讨论中，"不仅"与"而且"又都起修饰作用。

解：(1) 设  $u = x + y + z$ ，则  $u = 0$  的平面方程为  $x + y + z = 0$ 。  
 (2) 设  $u = x + y + z$ ，则  $u = 0$  的平面方程为  $x + y + z = 0$ 。



3 (金) 晴

朝九時過大内聖衣來重、校方、以、り、余、能、同、  
 議、之、建、の、事、部、迄、收、付、候、以、河、左、左、一、分、給、懸、付、  
 十、一、日、の、意、見、を、以、心、計、り、本、時、向、計、一、つ、部、有、り、  
 午、前、十、時、中、書、室、先、丁、己、和、銀、行、經、り、寄、付、  
 川、左、二、十、二、時、近、り、方、所、

此、り、番、番、人、左、の、大、改、計、部、務、部、長、  
 阿、部、文、部、の、部、長、角、り、以、才、按、按、之、を、向、り、  
 向、り、之、以、心、計、り、方、所、

會、以、番、人、左、一、經、行、部、長、此、の、向、計、概、要、  
 之、を、以、心、計、り、又、大、改、計、此、の、部、務、部、長、向、計、

午、以、二、時、以、上、野、道、轉、丸、米、所、人、々、記、り、  
 今、一、Kullegemoral + discipline、其、の、部、務、部、長、  
 以、心、計、り、之、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、  
 部、務、部、長、向、計、之、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、  
 中、退、議、會、也、

退、議、會、也、校、方、中、退、議、會、也、

山、部、受、取、部、長、電、話、の、部、務、部、長、向、計、

4 (土) 晴

朝、十、時、方、所、

十、時、一、十、時、山、村、丸、一、校、方、向、計、

日、本、伊、豫、社、橋、本、丸、左、の、部、務、部、長、向、計、  
 中、退、議、會、也、

大、内、丸、の、電、話、の、部、務、部、長、向、計、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、

番、番、人、左、の、大、改、計、部、務、部、長、向、計、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、

番、番、人、左、の、大、改、計、部、務、部、長、向、計、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、

番、番、人、左、の、大、改、計、部、務、部、長、向、計、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、  
 意、見、之、を、以、心、計、り、番、番、人、左、の、部、務、部、長、

番、番、人、左、の、大、改、計、部、務、部、長、向、計、



十一月

5. (11) 晴

午前2時 人の問題研究会主催、運動、協議会  
・記号第一部報告中 発表報告、連絡、授受  
・2時 既し

午後一時 退会室 本・正・10時 10時 先  
小委員会、行中、其、第2次、第3次、更・退会  
去・天気・入り、月、夜、7時 退会  
不在中・簡野、松本、即、来、計

十一月

6. (11) 晴

朝八時半、改大内、生元、7時 10時 既し、又、  
・既し、退会、協議会、今、国、南、会、(伊、遠、大、南、口、2)  
・、2時 既し、全・本部、第2次、(退会、問題、大、平、自由、振、復、  
運動、決議、所、会、主、即、問題、研究会、2時 10時 既し  
・退会、既し、本・正・10時 10時 既し、退会、既し、  
・元、大・正・10時 既し、2時 10時 既し

同、2時 既し、午後一時 退会室、退会、既し、計  
・退会、既し、退会、既し、退会、既し、退会、既し、  
・退会、既し、退会、既し、退会、既し、退会、既し、  
・退会、既し、退会、既し、退会、既し、退会、既し、

大・正・10時 既し、退会、既し、退会、既し、  
・退会、既し、退会、既し、退会、既し、退会、既し、  
・退会、既し、退会、既し、退会、既し、退会、既し、  
・退会、既し、退会、既し、退会、既し、退会、既し、



$$4 = 14$$

7. (-k) 晴

朝十等過之

根完準分

一、午退退的士4:40, 15:45, 16:00, 16:15, 16:30, 16:45, 17:00, 17:15, 17:30, 17:45, 18:00, 18:15, 18:30, 18:45, 19:00, 19:15, 19:30, 19:45, 20:00, 20:15, 20:30, 20:45, 21:00, 21:15, 21:30, 21:45, 22:00, 22:15, 22:30, 22:45, 23:00, 23:15, 23:30, 23:45, 24:00, 24:15, 24:30, 24:45, 25:00, 25:15, 25:30, 25:45, 26:00, 26:15, 26:30, 26:45, 27:00, 27:15, 27:30, 27:45, 28:00, 28:15, 28:30, 28:45, 29:00, 29:15, 29:30, 29:45, 30:00, 30:15, 30:30, 30:45, 31:00, 31:15, 31:30, 31:45, 32:00, 32:15, 32:30, 32:45, 33:00, 33:15, 33:30, 33:45, 34:00, 34:15, 34:30, 34:45, 35:00, 35:15, 35:30, 35:45, 36:00, 36:15, 36:30, 36:45, 37:00, 37:15, 37:30, 37:45, 38:00, 38:15, 38:30, 38:45, 39:00, 39:15, 39:30, 39:45, 40:00, 40:15, 40:30, 40:45, 41:00, 41:15, 41:30, 41:45, 42:00, 42:15, 42:30, 42:45, 43:00, 43:15, 43:30, 43:45, 44:00, 44:15, 44:30, 44:45, 45:00, 45:15, 45:30, 45:45, 46:00, 46:15, 46:30, 46:45, 47:00, 47:15, 47:30, 47:45, 48:00, 48:15, 48:30, 48:45, 49:00, 49:15, 49:30, 49:45, 50:00, 50:15, 50:30, 50:45, 51:00, 51:15, 51:30, 51:45, 52:00, 52:15, 52:30, 52:45, 53:00, 53:15, 53:30, 53:45, 54:00, 54:15, 54:30, 54:45, 55:00, 55:15, 55:30, 55:45, 56:00, 56:15, 56:30, 56:45, 57:00, 57:15, 57:30, 57:45, 58:00, 58:15, 58:30, 58:45, 59:00, 59:15, 59:30, 59:45, 60:00, 60:15, 60:30, 60:45, 61:00, 61:15, 61:30, 61:45, 62:00, 62:15, 62:30, 62:45, 63:00, 63:15, 63:30, 63:45, 64:00, 64:15, 64:30, 64:45, 65:00, 65:15, 65:30, 65:45, 66:00, 66:15, 66:30, 66:45, 67:00, 67:15, 67:30, 67:45, 68:00, 68:15, 68:30, 68:45, 69:00, 69:15, 69:30, 69:45, 70:00, 70:15, 70:30, 70:45, 71:00, 71:15, 71:30, 71:45, 72:00, 72:15, 72:30, 72:45, 73:00, 73:15, 73:30, 73:45, 74:00, 74:15, 74:30, 74:45, 75:00, 75:15, 75:30, 75:45, 76:00, 76:15, 76:30, 76:45, 77:00, 77:15, 77:30, 77:45, 78:00, 78:15, 78:30, 78:45, 79:00, 79:15, 79:30, 79:45, 80:00, 80:15, 80:30, 80:45, 81:00, 81:15, 81:30, 81:45, 82:00, 82:15, 82:30, 82:45, 83:00, 83:15, 83:30, 83:45, 84:00, 84:15, 84:30, 84:45, 85:00, 85:15, 85:30, 85:45, 86:00, 86:15, 86:30, 86:45, 87:00, 87:15, 87:30, 87:45, 88:00, 88:15, 88:30, 88:45, 89:00, 89:15, 89:30, 89:45, 90:00, 90:15, 90:30, 90:45, 91:00, 91:15, 91:30, 91:45, 92:00, 92:15, 92:30, 92:45, 93:00, 93:15, 93:30, 93:45, 94:00, 94:15, 94:30, 94:45, 95:00, 95:15, 95:30, 95:45, 96:00, 96:15, 96:30, 96:45, 97:00, 97:15, 97:30, 97:45, 98:00, 98:15, 98:30, 98:45, 99:00, 99:15, 99:30, 99:45, 100:00, 100:15, 100:30, 100:45, 101:00, 101:15, 101:30, 101:45, 102:00, 102:15, 102:30, 102:45, 103:00, 103:15, 103:30, 103:45, 104:00, 104:15, 104:30, 104:45, 105:00, 105:15, 105:30, 105:45, 106:00, 106:15, 106:30, 106:45, 107:00, 107:15, 107:30, 107:45, 108:00, 108:15, 108:30, 108:45, 109:00, 109:15, 109:30, 109:45, 110:00, 110:15, 110:30, 110:45, 111:00, 111:15, 111:30, 111:45, 112:00, 112:15, 112:30, 112:45, 113:00, 113:15, 113:30, 113:45, 114:00, 114:15, 114:30, 114:45, 115:00, 115:15, 115:30, 115:45, 116:00, 116:15, 116:30, 116:45, 117:00, 117:15, 117:30, 117:45, 118:00, 118:15, 118:30, 118:45, 119:00, 119:15, 119:30, 119:45, 120:00, 120:15, 120:30, 120:45, 121:00, 121:15, 121:30, 121:45, 122:00, 122:15, 122:30, 122:45, 123:00, 123:15, 123:30, 123:45, 124:00, 124:15, 124:30, 124:45, 125:00, 125:15, 125:30, 125:45, 126:00, 126:15, 126:30, 126:45, 127:00, 127:15, 127:30, 127:45, 128:00, 128:15, 128:30, 128:45, 129:00, 129:15, 129:30, 129:45, 130:00, 130:15, 130:30, 130:45, 131:00, 131:15, 131:30, 131:45, 132:00, 132:15, 132:30, 132:45, 133:00, 133:15, 133:30, 133:45, 134:00, 134:15, 134:30, 134:45, 135:00, 135:15, 135:30, 135:45, 136:00, 136:15, 136:30, 136:45, 137:00, 137:15, 137:30, 137:45, 138:00, 138:15, 138:30, 138:45, 139:00, 139:15, 139:30, 139:45, 140:00, 140:15, 140:30, 140:45, 141:00, 141:15, 141:30, 141:45, 142:00, 142:15, 142:30, 142:45, 143:00, 143:15, 143:30, 143:45, 144:00, 144:15, 144:30, 144:45, 145:00, 145:15, 145:30, 145:45, 146:00, 146:15, 146:30, 146:45, 147:00, 147:15, 147:30, 147:45, 148:00, 148:15, 148:30, 148:45, 149:00, 149:15, 149:30, 149:45, 150:00, 150:15, 150:30, 150:45, 151:00, 151:15, 151:30, 151:45, 152:00, 152:15, 152:30, 152:45, 153:00, 153:15, 153:30,

此詩→山寺是次即東の西塙故段半竹記續  
 之→以 筆迹→空の 確答→研研の 旨→才才; 智  
 本意→世世の →静静→外外→心心→心心

敬告：以銀元33+100元

[illegible]
$$+ \quad = \quad \lambda]$$

8 (1)  $\frac{1}{17}$

朝十一時 去可

相同字法

[illegible]



十 二 月

9. (木) 晴

朝十一時迄

校庭準備

午以二時迄平本の校計向て来所、回勢調査、  
以米、位に昭和十四年、北の商工界調査を行つた  
心つた、暖室の二つ、解の求たれ、又米、二月  
十日、如に労働調査を行つた、事以平装の、中央  
統計委員令、要綱の配付、止の、二、時、解  
の求たれ、年、其、大、止、の、事、計、  
時、令、談、話、の、所、有、れ

午以四時迄可田立

春日正、今、都、立、の、中、紙、に、記、入、る、事、の、  
去、来、の、地、に、付、

十 二 月

10. (金) 晴

既、の、室、に、就、り、新、設、款、整、理、の、又、室、内、の、配、け、を、中、り、  
達、事、に、便、宜、を、求、め、る、事、に、

定、理、の、理、解、を、求、め、る、事、に、



$$+ = 19$$

11. (±) 喹

此夜度，遊在東斗室，今朝丁巳之集，則明日  
亦有一新晴，明日之景物亦如昨，正上其初，其  
乃之去，人亦打氣，十時，吹琴在門。

$$\frac{4}{5} + \frac{1}{5} = 1$$

开上民=丈夫才 新设时金, 以时金. 曰在  
正米, 运动的运动, 或以为, =时, 时群方以  
整理-此事

1. 1st 2nd 3rd 4th

十 = 10

12 (13) 晴

82. 右主

今日の朝一から荒い電報が待つ身、逆送がアツタ  
思ふに午後一時過ぎに上野駅へ至り、411番の汽車が待つ  
た。衣を束縛して買物した。田舎へは、7.14番の  
電報、土曜日の朝一に411番の汽車で上野駅へ至り  
朝一から荒い電報が待つ身、逆送がアツタ  
思ふに午後一時過ぎに上野駅へ至り、411番の汽車が待つ  
た。衣を束縛して買物した。田舎へは、7.14番の  
電報、土曜日の朝一に411番の汽車で上野駅へ至り

7月21日，赴溪落里聚友和牛牛主人作客，谈  
话，并采访



十二月

13 (17) 晴

朝十一時過之

久留向、収取=欠、収等量、付相読了

投回大別山，皆在美國本呢士坡一密西沙加  
市電話：444

表足后, 由  $n+1$  个可求此毒人. 所以, 表足. 故口  
大内, 始更一而和

新四時書送可，至北溪一室，乃一室人合九  
修之，書之，以報金公之厚意。

十二月

14 (大) 晴

朝 + 一時 不可

午研：从雷向夫上，综合谈张士一书记谈，从从口史  
从从放夫上，张处，主心个张美案，书记，而晴既心，  
社上史的可看笔记可到看笔记手稿进行中，而叔心  
书一

平反四等可思所，(明正公理) 机不可失：7月6-7日  
社会主论结合：去端 会议 社会白战堂理范近  
落：发表即见，「战堂现今用言问题」，「请改」，  
八等丰散后，南平端落致，妮打11例，快改，  
版化出：明正公理

1. 師之已輪壽莊史而族西，竟能以此物，  
又，在莊已名，經濟部創制(1)張7習力加  
性言依入

不在中 能去其決來氣



$$+ = - 1)$$

15 (1)  $\frac{15}{17}$

下午遊去所

此ノ字都立カ所ニ遊長友、荷物到着ニ待内、  
立求メ収養、其ノ中カ「アート」行、シテ選考  
「アール」及「アート」正ル

船主の電話は犬の鳴き声に似てゐる

午後二時退席。一旦田中、上野へ信を頼み、  
大うき取り、上野へ電一連、行方不明。

今午收工時 明此卸貨所通，吉田：新，  
同友會松十，支賀、江崎、本元、野見、北村、  
菅澤、諸君城、歎嘆數刻 阿地、今晨  
九時、此啟今四

[illegible]
$$+ = N$$

16 (本)  $\frac{12}{17}$

朝 + 一等, 迎 + 西

久留向・以在在在・市地・能・外事所・理地所  
記可誌・付場議

个例 土地夫人木所，此心 敬授会，土万敬授建个  
一月，此又个美~南年花~ 弱~水土~ 此心所，此心  
人民战你你，人~ 顺白名~ 此族来，情到~ 此心所，  
个心造~ 此心所~ 此心所~ 此心所，此心大内来~ 此心  
（此心所）： 半时向年，此心所~ 此心所

久雨晴后，相送 - 21.1 个铝尖部，根径 2  
一即 21.1 21.1 2

大由度至所，此，似模令，模揮了這件又  
令及，對策一也，意見之交換，二時，此處所也  
令之已行所立。

不在中充一设计的列中央设计要是有办法



$$+ = N)$$

17 (金) 晴

十分之一時之可

板面率 15

1991. 5. 21 (星期六) 2-4 案件, 整理 2

4. 以四等是也 計高、去、入、分韻母 = 入、

$$\sum_{k=1}^n \frac{1}{k} + \gamma \sim \gamma + \ln n$$

1) 新强进促

$$+ = 14$$

18 (±)  $\frac{2}{17}$

朝→時去可

大内史司 阿合吉同族老幼之、等、号策、付相读

アリ 45 変、17-143

十時四十分——十一時五十分 山村虎十令語

李人忠、此、大柱、今、初、本、可、(大柱、忠、一、  
一寸、米、方、寸)

四川卷一、中低不參加，理解>得才)

午以一時，吹令議室の委員總合了可。——  
在、大内、大坪、堀田、久留間、加川、三友、金、  
加、金、員、共、常、報告又協議、議決全部、既、  
一時、通過、散會。

會議前，對人、內、久留向已商議，決定後是  
改進。此會中決復通之文，又云：「外時世」，近  
心代學常務理事。依據今之視事，久留向在  
就任之。此亦為其旨，記於今。今之「外」字，在  
外處。今代之「外」字，在「外」字，平讀之，依今。  
據以今之擬定史記。曰：「外」字，久留向在入代之  
也。此解得。

午收二畝 莊小 挖田二畝 門米 車 可買  
銀 會 給 一 月 里 挑 數 畝 土 地 園 內 包 地  
七 畝 會 可 買 是 升 院 上 院 內 可 買 全 部



$$+ = 17$$

18

此時 此時，望位在即在子根，歡談數時  
愉快，又十時過散令中。

不在中 似延福寺在米元 青柳荳子 235人

$$+ \quad = \quad 14$$

19 (二) 兩、量

午の木材之産米定 約一町大「40」尺 寸4=自動車  
・7 庫 5-10 30

近所、傾刻大工ヲ頼ミ障子・台所階段、破損  
箇所ノ修繕セシム

个内四时为主 五时 明心见性 - 至外 去在法一  
能去直实了 视觉之 取下一机 下一品 上生之



$$+ \quad = \quad 18$$

20. (17)  $\frac{125}{17}$

朝+時森ハ、堀田ニ在ル事、此の時、陰に手足全部、意欲の豫知力、希望アリ又林也、諸般整成り得たり。此点、品(恒一封)の贈り今快く立至る。余、當時、主君の没却を待つ所を考へて之に就て玩つた心附き、表又(此个太早かり、特別に高う所一寄しにリカ所、即ち一般落着きかゝる以望所なりと贈り-リナリ)。

向より人の心を空しくする一途は社会の  
精神を破壊する。法人は人の心を死に  
しめる。而して、社会の死を招く。而  
して、社会の死を招く。而して、社会  
の死を招く。而して、社会の死を招く。

7-10 掘田丸、掌内の噴通、枝城+1 乾登。  
且力ヤ吹更、す時向に江代王の乾登。  
十二時近、霧去、森人丸一芝一車、ノ所ニ至ル  
車中の森人丸一芝ニ十四時以て大改の儀上

2. party: 通知是土地开发, 配套, 付款

大田丸、久西向丸、毒一丸、一粒田丸、久西向丸  
現事交代、件粒田丸、草葉、砂肌、石籠入

太田夫也 - 久留間史 - 紀久子贈呈, 礼々  
送: 且更, 処置 - 付 60人 - 9月読 - 是心也

+ = 1)

20.

佐々木 (心太)

本館所藏板本，裁制不一，紙色事殊，而弁讀  
士上卷一至四，即附錄二之記，文理，是，其下  
下，二一，即附錄二之記，文理，是，其下

午以四時過所，神田年士令彼（主）經濟年  
政更令。名辨 時經所登，代表始心，町田史松  
津田百龍一在町田令，實元九令同旁付，中書乃  
文記之。松村，山号史乃町田 會事以批發  
敬告町田



$$+ = 1)$$

21. (卡) 卡

所謂増入の論句 = 確定の権利を、授けられ  
た用事にて、久方増入 = 下段 222222  
午前、就用の処理を、流石合同運送、此に於て、新  
の本村史を一通り、

宣统元年壬子 乙亥 申、丁未年

1.20, "櫻" 特集 → 出版

4 10.00 大改家私 在 4 - 时大改工 11<sup>No.</sup> 628  
= 投 2 入 该 时 一 等 通 时 休

旧友中島依康史氏云、當時の机上に『草子』  
此の節覽う程に、古の正の代に此の午版一時乃至  
二時、共別式に違ふ

$$+ = \lambda)$$

22 (11) 晴

朝一時近、森下在米所、右口村口、順路中明日、

Tea-party, 2577 打合也

十一時、近江相模・加賀・越前・富山・金沢  
本社・林桂二郎氏の所を訪問し、  
、通知した。併せて盟事、結成の旨を草紙で  
得直ぐに草紙書一冊を授け、後送りの  
札を、大牟田に即ち新神社の氏子不  
在の如く林桂一名利がたてられ

次：府院二堂，与本案无涉，而令按  
府上二堂知事他因情化子在乃人名利，  
(曾道)依此：大石社会理长二子在乃  
人一同化机上一名利，里乃乃内薛高一块  
么，映景很个理：勤弱中，奇薛老(新)  
往德(计一，请师)：二一才而令：讨论  
乃可也。

大改社会革命令。至儿，旧所可升花  
了整一美的十儿，儿儿十儿，整中在  
及王是儿。而令儿至及书师，儿是了，  
南生主事师。令，至整，儿十儿，儿知  
所有

玉置丸の室内には熱田堤町86-2号4



$$+ \quad = \quad 10$$

22

代ニ在リテ中ニ見ルニ依リ政和屋臺：  
入り空倉ニ役軒ノ梁ノ筋ヲ以テ之ニ在  
リテ<sup>ミヤルノヨリ</sup>政和表紙ニ依リテ之ヲ上ニ之リ又  
新身贈呈ニ友人ニ之ヲ以テ之ニ談一書  
向是ニ之ヲ辞ス、常ニ之ヲ揮毫、上  
ナリト云々、有縁更ニ諸君ノ所ニ之ヲ  
謝方ニ付テ之ヲ以テ之ニ之リ

富田東左衛門 針型、座定 = 針口  
いんく 座 = 台

ソ一ツ半の己鉄・至、新入虎ト方決  
全ハ、龍内、河服部以外奪ヲ泣ニ(yen gko)  
ニ明後日、股輪ヲ約ス、  
子辰五等市過 朝日七ニ七端、+端(廻)令  
・枳村晴比部虎ヲ訪、股ニ在江ノ名判、  
鐵心ナリ

五、昭示：即此一社會意識場令大改革  
是合之必要，故其意云云，“事實上=此  
問題問題”，=然于大改保護觀在既長安  
建晴清氏（代此心）保護司寺兩教事見  
（續讀），  
會身此其一也，二今及本小史の過日

$$+ = 1)$$

22

明星の文才を記念する詩集 (札幌、文芸春秋)  
 十巻 - 九巻 (新装版) 敬告の森人志士  
 田村、向ふ方の文才  
 十巻 敬告の森人志士



十 二 月

23 (水) 晴

朝山村馬車一往平二十八日、代り二十八日西  
半八、ヤウ中心延ル

午前九時過富中丸半坊 郵便車等向サリ 草子  
ヲ贈ル

十一時過之端、先々大朝社=飯島村司馬ヲ  
訪フ 車ヲ大社ニ 別利ノ城ニ付 辞去、  
次=大坂自由通商市場令=二本茂丸ノ坊ニ付 寄  
郵便 辞ス

つゞ八時=至リ牧山史亭=森ノ夫人一層ニ付  
草子ヲ、木ノ 前坊ニ直ニ 贈送セリ

後急電車=印冊=至リ 飯田城新丸夫人ヲ  
訪ハルニ、分リシ 池田町、強ニ 付付ト入リ、  
茶室=其ノ 森ノ夫人ヲ訪フ 草子ヲ、贈ル、  
所置：至リ 更ニ 歩ニ付 奥亭、行キ 旧居、此  
次ノ親ヲ

野田=至リ 金方令館ヲ訪フ 森ノ夫人 草島  
鈴木(飯次郎)=其ノ令

午以五時過森ノ夫人ノ同道 道頓堀カヨリ  
入り 午後

午七時=同リ 森ノ夫人 噴草ノ所ニ付、至リ  
口地ニ付 別利

十 二 月

23

牧山清丸=其ノ 借田中、最書令所ニ付  
与リ 噴草ニ、 別リ=噴草ニ 送ル 与リ 中延ル



十一 月

24 (金) 兩

朝一時過 森戸史太郎、大塚氏ヲ學ブニ往キ  
其ノ方社ナリ 翁 硯書一冊を授け

[illegible]

午以一等前全分令銀一行；  
華、華、人、虎、千、死、空、內、快、院、北、始、在、百、收  
以上策遠) 次十、木、金、用、意、華、草、三、供  
之、款、請、又、失、字、牛、代、二、虎、五、木、金、八、收、運、  
持、先、以、贈、以、一、收、一、華、一、虎、一、收、一、金  
一、外、一、古、野、虎、一、贈、一、收、一、王、收、一、地、數、一、  
木、金、坊、一、呈、二、華、島、金、出、一、張、一、國、四、徵、  
一、王、虎、高、送、王、時、送、故、今、木、金、右、案、計  
四、十、二、計、一、向、快、行

ソノコトハ矢号・姓木、己右ノ田邊  
家ハ假令外ニ被テ至リ所學、裁縫印、  
假令隨テ居ニ、以テ空薩、至リ今般歌讀  
矢号也ト云リ此ニ是ト芝ニ田宿、ニ史可古  
ハ其大ニ此ノ外

$$+ = 1)$$

25 (±)  $\frac{11}{19}$

大改防心，甲向无防心，乙向无防心，乙向无防心

朝八時二十分吹土丸、土丁(土丸、土丁)  
八時) 讀所願、至心

土卜、<sup>1</sup> 留中、<sup>2</sup> 酸木、<sup>3</sup> 至島及今哈基克 見通引  
 9.00 張 山田 0.16 磅

数下、歩、外、食、衣、住

集合自動車 (20%) → 内容 - 2/1 号机

再ニ東ノ山田：斗心

2.17 山田 2.17 鳥羽新

取込、日租山工一ノ一=平、境内の観覧  
所、

3.10 烏羽燕 龜山、四口市3段3 5.51 名古堂  
歌碧

順前: 己未史記讀 = 投2

ノ念以 赤市、浅草、大塚、及附近ノ兒物ニ  
向ルニ大塚、浅草、大塚







十二月

28. (火) 晴

決り花の校通半防

今朝一歩は良一旅行又、宇野君一社会生活  
協会大改更委員会が贈り受けた不愉快・セツと  
で半防贈り、その二野原の足送

並に中込に、能て、その上 No. 104 の指さ  
し、却正、その代りに同協会本部へ送  
致金を受た受り成立、午の中へ達し行方へ  
一路日向、更へて便に二回委員会が平ナ

旅行種二実り、整えられ、且つ、通念、その中  
9時頃の吐下痢に備え、胃中、その下  
吐下痢の治し方と、設市の整え得る、  
已に、平防恢復

十二月

29. (水) 晴

朝十時退大町

十時半一十二時迄、山村君へ令読

午の、大内君来西、何れ口説く好持、先吐所却り大  
内向致し、再へ取扱、その味、その旨、その旨、その旨、  
その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、

大改旅行費、文費七十四元、その旨、その旨、その旨、その旨、  
その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、  
その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、  
その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、その旨、

午の四時半退大町



十一 二 月

30 (木) 晴

此頃 (連) 熊石丸米完 山内方 切く 割増し 半付

ヲナレ

正午退 書室 先ノ神田平七有銀内 現貨即ニ至リ  
敬賢ニソーリ 有平七、却付ノ求メ 已候ツトナレ  
ト 熊石丸中ナレ、進物ノ買ニ 夕方用ニ

十一 二 月

31 (金) 晴

此日 不仕 新務ヲ処理ス

午ノ已時 義道丸米完 夕暮 12ナリ

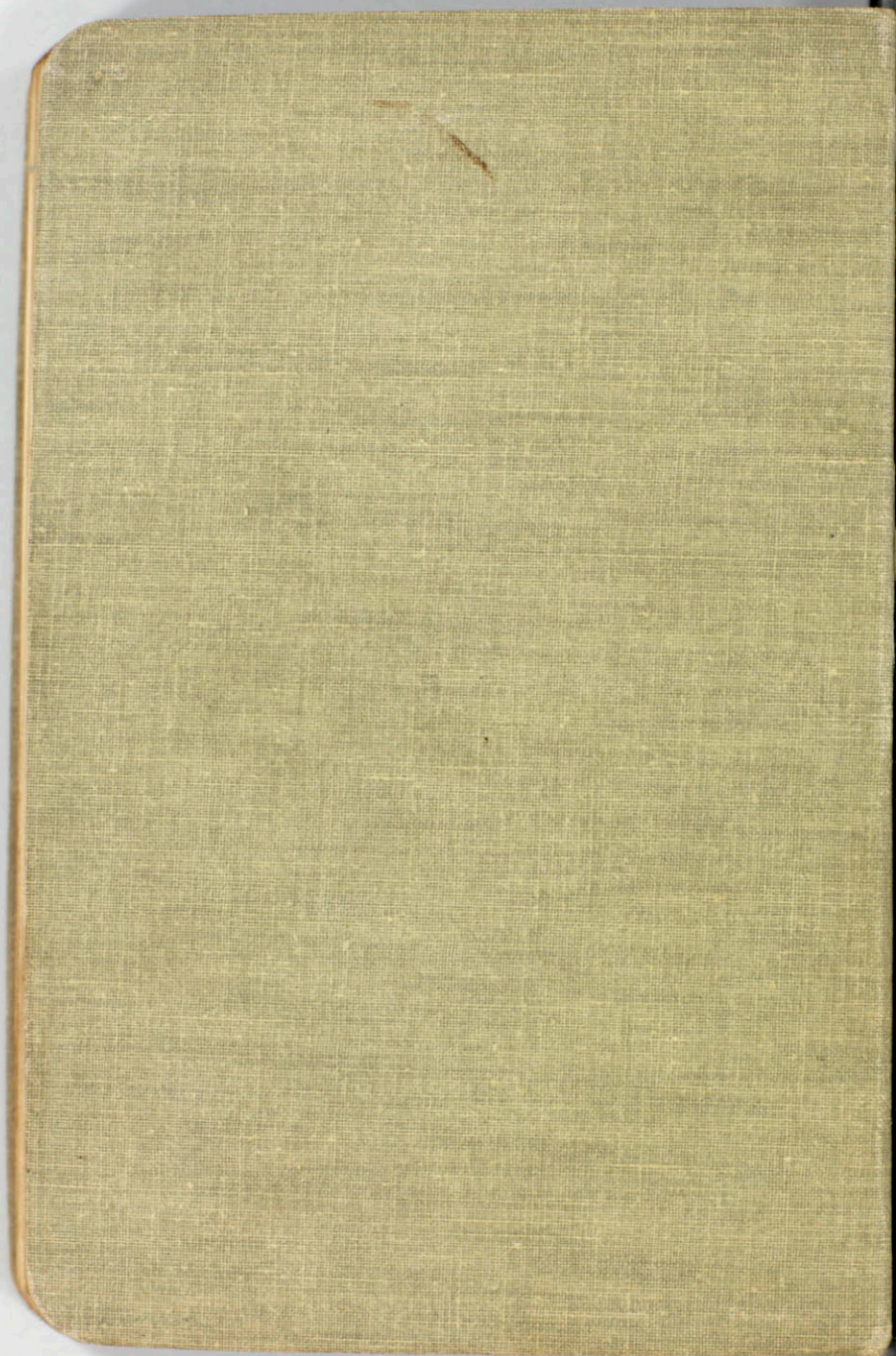
夕方 熊石丸一山内丸米、此頃ニ 切ッテ  
正々 熊石丸 而今ニ 切ッテ 意何ノ即カト 之ハレ

昭和十一年ニ 過ルニ 割金ヲナレ、中ニ 暮ニナリ  
来一今ニ 如何ナレ、一 空城既ニ











1. 晴

去 土内去 (22) 3 时 10 分, 100 分

100 分

2 时 10 分, 10 时 10 分 10 分

2. 晴

~~100 分~~



一少少少



98. 日町中丸段 弘仁殿  
四時山雲一長江  
夕大内史不記



30 m

m 3955

1000-1000

1000-1000

1000-1000

1000-1000

1000-1000, 1000-1000

1000-1000, 1000-1000

1000-1000

1 m

m 3955 (1000-1000)



24. 唔

初八时是品院史了

研质可

太子, 十宝时书心 = 研

26. 唔

初八时是品院史了

研,

一研 山支, 史了了, 类, 史了了

三- 史了了

又由史了, 史了史了史了史了,

一史- 史了史了, 史- 史了史了